

「安全・安心な教育研究支援に資する

監視カメラシステムの構築」個人研修報告

実験教育支援センター 電気系共通実験室 土屋明仁

目的

電気系共通実験室の学生実験室は、23 棟、24 棟、32 棟と「飛び地」になっており、安全や防犯の管理がしにくい状態である。また、クリーンルームにおいては入退室の煩雑さなどもあり、入室しなくても室内の様子を把握できるような監視システムの導入が望まれていた。

これらを背景とし、実験室での事故や機材の盗難を未然に防ぐことを目的としてカメラを用いた監視システムを構築したので報告する。

システムの構築

システムの構築にあたっては、1) 映像（音声）を記録できること 2) 映像（音声）をライブ視聴できること 3) 機器の運用と管理が簡単であること を条件とした。

使用機材

- ・有線/無線対応ネットワークカメラ Planex CS-WMV04N2 2 台
- ・映像（音声）記録用ネットワーク HDD Buffalo TeraStation3200 1 台
- ・LAN ケーブル 40m1 本
- ・8 ポートスイッチ 1 台

カメラを設置した実験室

- ・クリーンルーム 室内の状況が把握しにくいため
- ・32 棟学生実験室 測定機材や PC などが多数あるため

映像記録用ネットワーク HDD の設置

- ・物理アクセスは職員だけが可能。映像（音声）データへは職員 PC からのみ可能。

ネットワーク接続

- ・映像（音声）データへのアクセスを制限するため、電気系共通実験室職員用の LAN 内に機器を設置。

おわりに

監視システムの導入は、実験機材の盗難予防や事故につながる行動の予防に大きな効果があると思われる。万が一盗難・事故が起きてしまった場合でも、よりすばやい応対を可能にし、適切な事後応対ができるようになると期待される。

謝辞

本個人研修は、慶應義塾大学理工学部技術研修委員会の補助により行うことができました。ここに厚く御礼申し上げます。

機器/ネットワーク構成

